

お客様

高品質の製品をお客様に提供するとともに、納期・コストの対応についても常にレベルアップを図り、「お客様満足度」のさらなる向上を目指しています。

品質保証への取り組み

当社は、世界トップ水準の品質確保とお客様満足度向上を目指した品質方針を定め、あらゆる品質保証への取り組みを行っています。国内環境およびグローバル環境の変化に柔軟に対応しながら、業務品質の維持・向上に努め、お客様に高品質の製品を提供し続けていきます。

また、品質国際標準の認証取得を積極的に推進し、これに則った品質マネジメントシステムを運用しています。

品質方針

世界トップ水準の品質提供により
お客様満足度向上をグローバルで達成する

重点方針

- ① 実力を的確に判断できる品質監査、改善支援
- ② グループ技術力を活用できる仕組みづくりと継続的運用
- ③ 人材育成のための各種教育・研修の推進

具体的な取り組み

重点方針については、以下のように進めています。

1. 実力を的確に判断できる品質監査、改善支援
 - ① グローバル品質監査の内容見直しと計画的実施
 - ② 重要工程(熱処理・溶接工程)の定期点検・監査
 - ③ 設計・開発段階での未然防止活動の推進
2. グループ技術力を活用できる仕組みづくりと継続的運用
 - ① グループ製品・技術ハンドブックの作成
 - ② 若手営業・開発者によるグループ工場見学会の開催
3. 人材育成のための各種教育・研修の推進
 - ① 人事部とタイアップした品質集合教育の実施
 - ② 個別ニーズに合わせた出前教育の実施

品質国際標準の認証取得

当社は、1996年に厚木工場での品質の国際標準であるISO9001の認証を取得したのを皮切りに、全工場でのISO9000シリーズの認証を取得しました。また、自動車関連製品を生産する工場については、さらに厳しい品質の国際標準であるISO/TS16949を取得しています。

国内グループ会社各社でも積極的に認証取得を推進している

ほか、海外グループ会社でも、お客様や地域に合わせた品質国際標準の認証取得活動を展開しています。

この認証取得により構築された品質保証体制のもとで、「次工程はお客様」との考えに基づき、これからも高品質の製品を提供していきます。

お客様からの評価

当社はお客様の期待に応えられるよう、常に品質・納期・コストなどの改善に取り組んでいます。その成果は、多くのお客様から表彰を受けるなど高い評価を受けています。



多くのお客様から表彰を受ける

VOICE

燃費・性能向上につながる提案に期待



ダイハツ工業株式会社
調達部車体部品調達室
室長
岡田 康幸 さん

当社が生産する車両の懸架ばね(コイルスプリングやスタビライザ)はニッパツの横浜、滋賀工場などから供給されています。滋賀工場は当社の開発拠点や竜王工場から近く、迅速な対応をしてくれています。また、海外拠点においてもニッパツの技術支援先のローカルメーカーから供給してもらっています。

昨年度、ダイハツと取引のある仕入先のうち、品質に対する取り組みのよかった職場として、ニッパツの横浜工場を表彰しました。従業員の皆さんが、品質のよいものをつくらうと様々なところで努力している様子や、つくり方に関しても新たな取り組みの説明をもらい、大変心強く感じました。

当社は軽自動車を主体とした事業を展開していますが、燃費・性能の向上が不可欠だと考えています。軽自動車をより多くのお客様に使っていただけるように、さらなる燃費・性能向上につながる提案など、様々な面での協力を期待しています。

株主・投資家

株主・投資家の皆様に長期的にご支援いただくためには、会社の状況や財務に関する情報のタイムリーな開示が大切であると考え、その実施に努めています。

株主への対応と分布比率

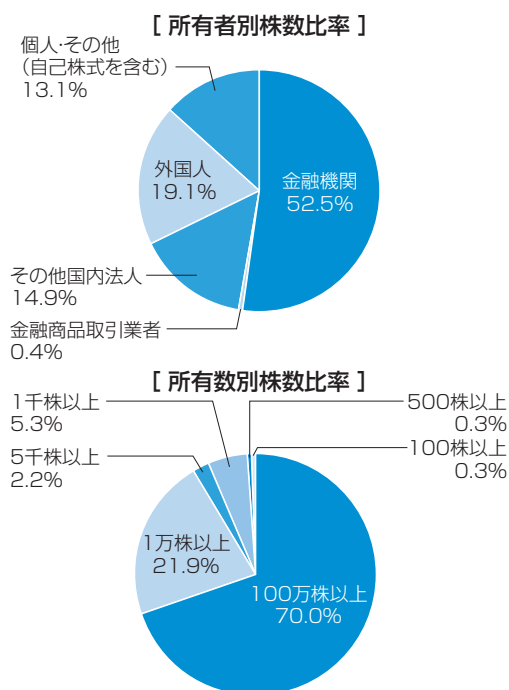
株主の皆様からの問い合わせについては、以下の通り対応しています。

広報グループ: 事業活動ほか全般

総務部: 株式の諸手続き(株主名簿管理人=三菱UFJ信託銀行)

なお株主の分布状況は、次のグラフのような構成となっています。

■ 株主分布状況(2013年3月31日現在)



IR情報の発信

株主・投資家の皆様に、当社を一層ご理解いただくため、事業報告書やニッパツレポート(日本語版および英語版)の発行のほか、プレスリリースやホームページで最新情報をお知らせしています。今後さらにホームページの充実を図るなど、迅速かつ充実した情報発信に努めていきます。



投資家情報ページのアドレス

<http://www.nhkspg.co.jp/ir/>

投資家向け情報の発信

当社は、中間決算および本決算発表後、アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を実施しています。2012年度は、都内で5月と11月の2回開催しました。今後も、アナリストや投資家への積極的な情報開示を推進していきます。



決算説明会を開催

VOICE

顧客ニーズに「ものづくり」で応える真摯な姿勢

みずほ証券株式会社
リサーチグループ エクイティ調査部
シニアアナリスト
杉浦 誠司 さん



私は、自動車セクター(完成車、部品、タイヤ)を20年近く担当しており、企業業績や業界動向を調査および予想して株式価値を推計、その投資判断結果を国内・海外の機関投資家に情報提供するのが主な業務です。

日ごろの調査活動や国内・海外の工場見学を通じて、ニッパツは、完成車メーカーから絶大な信頼を受けている印象を持っています。高い業界シェアをもつ懸架ばねやHDD用サスペンションのほか、自動車用シートなど、企業として手堅い経営を行っており、派手さはありませんが、顧客のニーズに「ものづくり」で応えようという真摯な取り組み姿勢も感じます。

自動車業界もエレクトロニクス業界も先行きに楽観できない状況です。今こそ「オール・ニッパツ」のグループ総力をあげて、全社的な経営資源の配分の再検討、部門間の協調やシナジーの追求、海外展開の拡大を図るべきだと考えます。さらに、海外拠点での経営基盤の確立は不可欠です。安定した品質を確保し続ける生産活動、新規顧客の開拓、人材育成などは重要な課題だと思います。

サプライヤー

購入品調達にあたっての基本方針を制定するとともに、
 自社ガイドラインに基づくグリーン調達を推進しています。

調達基本方針

当社は購入品調達にあたって「相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築」「公正かつオープンな調達」「法規順守と機密保持」という3つの基本方針を制定しています。

購入品調達の基本方針

- **相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築**
 相互の努力と公正なお取引を通じて、ベストパートナーとしての長期的な信頼関係を構築し、お互いが発展することを目指しています。
- **公正かつオープンな調達**
 当社は、国籍、規模、系列等を問わず、オープンな参入機会を提供し、品質、価格、納期、サービス、技術力、開発力を総合的に勘案してお取引先を選定しています。
- **法規順守と機密保持**
 調達活動においては、関連する法規と社会規範を順守しています。また、お取引先を通じ知りえた機密情報は、ご承諾なしには第三者に開示いたしません。

グリーン調達

当社は、購入品調達の基本方針に基づき「グリーン調達ガイドライン」を設定し、環境に配慮した企業からの環境負荷の少ない製品の調達に努めています。サプライヤーの皆様との連携によって、製品の設計・生産・廃棄に至るすべての段階を通して環境負荷物質の管理を推進するとともに、廃棄物を含めて環境負荷の削減を図っています。

化学物質のサプライチェーン連絡および海外の法令対応がますます重要になってきたことから、2009年度に内容を全面刷新しました。



グリーン調達ガイドライン

ニッパツグループ・パートナーズミーティング

当社は、毎年1回、グループ会社のサプライヤーを含めた取引先の代表を招き「ニッパツグループ・パートナーズミーティング」を開催しています。当社から、中期経営計画の目標と年度方針および取り組むべき課題などを説明し、サプライヤー各社に一層のパートナーシップ強化への理解と協力を求めています。

また、購買本部より、当社を取り巻く経営環境と購買方針の基本的な考え方について説明するとともに、技術本部より、品質方針と目標および各生産本部・事業本部・事業部の品質への取り組みについて説明し、さらなる品質向上への協力を呼び掛けています。



サプライヤー各社との関係強化に向けて開催するニッパツグループ・パートナーズミーティング

VOICE

国内・海外における事業のさらなる拡大に期待



株式会社フジタ
 営業本部営業統括部営業第二部
 営業部長

岡野 文彦 さん

フジタは40年以上にわたり、ニッパツおよびニッパツグループの国内・海外での生産拠点の建屋、独身寮・社宅などの厚生施設の建設工事に加えて、耐震補強工事などの各種改修工事も含めて手がけています。

ニッパツは、こちらから提案した技術、価格、納期などを公正に評価する一方、常に新しいものを取り入れる積極進取の姿勢をとり、協力業者を単なるサプライヤーとしてではなく、よきパートナーとして信頼関係を構築し、お互いが発展することを目指しています。

ニッパツには、「創造挑戦型企業」「開発提案型企業」として様々なお客様のNo.1評価の獲得をされるとともに、国内・海外における事業のさらなる事業拡大に期待しています。

2013年度、ニッパツから「パートナー賞」をいただきましたが、建設会社がこのような賞を受賞するということは、フジタ創立100年の歴史の中でも大変めずらしいことです。社員一同建設という「ものづくり」を通してニッパツの事業に貢献していきます。

従業員

当社は「人を大切にする」という企業風土のもと、従業員を大切な財産と考え「人財」の育成に取り組んでいます。働きがいのある会社づくりを目指し、障害者雇用、労働安全衛生、福利厚生などの充実を図っています。

人財の雇用と育成

雇用における基本的な考え方

当社は従業員の採用にあたって、期待する従業員像のキーワードである頭文字から「PARTNER」を掲げています。当社の「パートナー」となり、「何かを極めようとする探究心」や「困難を乗り越えて成し遂げようとする意欲」を持ち、自分を型にはめず、可能性に挑戦し、どんなことにもポジティブに考えるような人財を広く求めています。自由闊達な企業風土のもとで、夢と可能性に挑戦する人財の雇用に努めています。

期待する従業員像



人財育成

人財育成は、一人ひとりが「プロフェッショナル」として能力を発揮できるよう、①自ら成長しようとする「個人」、②従業員を育てようとする「職場」、③それらをサポートする「人事制度」の3つを有機的に連携させる体制を目指しています。

教育研修は、階層別や職能・専門の集合研修のほか、外国語・異文化研修などもあります。また、社外の研修にも積極的に参加するほか、海外研修や通信教育を充実させるなど、環境変化に柔軟に対応した人財育成に取り組んでいます。



人財のレベルアップに向けた様々な研修を実施

採用活動

採用活動は、当社独自の会社説明会を開催する一方、学校主催の説明会には人事部の採用担当者が積極的に参加しています。会社説明会では、若手従業員にリクレーターとして協力してもらい、学生とのフリートークの場を設け、実際に働いている従業員の生の声を聞いてもらうことにより、当社の企業風土や雰囲気をはじめ、就職後の会社生活をイメージしてもらえるような活動を行っています。

また、就職情報サイトでの情報開示とともに、携帯サイトを含む当社ホームページでは「採用情報ページ」の設置、新卒採用向けの駅貼りポスターなども展開しています。



当社を理解してもらう会社説明会



当社ホームページの採用情報ページ



リクナビの当社トップページ



当社の採用活動をアピールする駅貼りポスター

障害者雇用

当社は、2002年4月から「企業としての社会的責任と地域社会への貢献」を目的に、障害者を雇用する特例子会社「ニッパツ・ハーモニー」を設立しました。また、2009年3月よりグループ会社であるニッパツ(日発販売)、日発運輸の2社を特例子会社のグループ適用会社として展開を図っています。

2013年3月末現在、同社は神奈川県と長野県にそれぞれに2カ所ずつ、計4営業所を設け、43名の障害(主に知的障害)を持つ従業員が元気に働いています。2012年度は地域の養護学校から45名の生徒を受け入れて実習したほか、様々な企業・学校・行政の関係者など330人あまりの方々が見学に訪れました。

ニッパツグループは、障害を持つ人と持たない人が、ともに調和しながら「可能性への挑戦」「社会人としての自立」「社会との共生」を目指しています。



元気に働くニッパツ・ハーモニーの従業員

労働安全衛生

当社は、2000年度から労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、2003年度から全社展開しています。「危険ゼロ」を目標に労働災害の撲滅を推進するため、次のような取り組みを行っています。

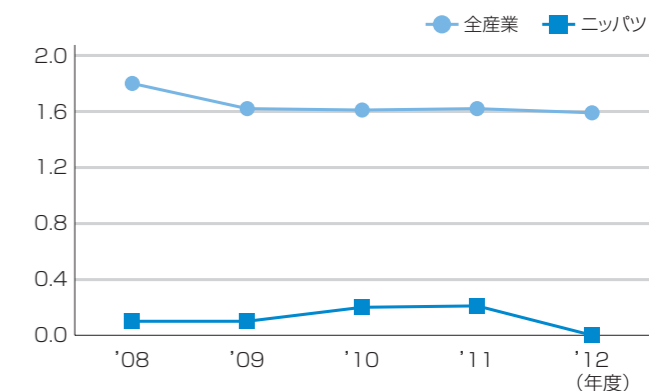
- ・5S(整理・整頓・清潔・清掃・しつけ)=安全の最も基本的なことを身に付ける
- ・安全道場=安全基本動作を身に付ける
- ・リスクアセスメント=危険有害要因を特定し、設備の本質的な安全につなげる

労働安全衛生の指標となる休業度数率は、全産業平均よりも大幅に下回っています。

今後は、労働安全衛生マネジメントシステムのPDCAサイクルを適切に回し、スパイラルアップによる安全衛生管理のさらなるレベルアップを図っていきます。

$$\text{※休業度数率} = \frac{\text{休業災害発生件数}}{\text{延べ労働時間}} \times 100\text{万}$$

労働災害による休業度数率推移



福利厚生

当社は、従業員の快適な会社生活を支援するため、社会環境に応じた福利厚生の充実に努めています。特に、安全で安心できる働きやすい職場づくりや、従業員同士のコミュニケーションが活発に図れるような取り組みに注力しています。心身の健康管理、余暇の活動、定年後の安定した生活に向けた支援など、総合的な福祉を目指した活動を行っています。



地域の皆さんも招いて行う納涼祭(豊田)



ネーミングライツの特典を利用して「ニッパツ三ツ沢球技場」で行う社内サッカー大会



プロ棋士を招いての囲碁教室(横浜)



職場の仲間とゴルフ大会(名古屋支店)

地域社会

当社は、グループ会社を含め、世界各地に拠点が広がっており、それぞれ地域に根ざした活動を展開しています。そして、地域社会から世界へと共生の輪がさらに広がるよう、グループ総力をあげて取り組んでいます。

ニッパツの取り組み

「ニッパツ三ツ沢球技場」を軸とした活動

2008年からスタートした「ニッパツ三ツ沢球技場」のネーミングライツ(施設命名権)は5年の契約が満了となりましたが、2013年3月から新たに3年の契約を更新しました。

当社は、ネーミングライツの特典である無償使用権の有効活用に取り組んでいます。

●ニッパツ朝日新聞ジュニアサッカー教室の開催

小学校2～4年生を対象としたジュニアサッカー教室を同球技場で開催しています。毎回150人ほどの子どもたちに、元プロ選手の指導を受ける機会を設けています。

●ニッパツ理工系大学サッカーリーグの開催

前途有望な学生の活動を支援するため、サッカーリーグを設立し、この活動を支援しています。開幕戦は同球技場で行うほか、リーグ戦の優勝、準優勝チームは、Jリーグの横浜FCの公式戦時に大観衆の前で表彰を行っています。この活動は当社の採用活動にも役立っています。



2012年12月、玉村社長が林横浜市長と契約書を取り交わした



新たに3年間、継続することになった「ニッパツ三ツ沢球技場」



「ニッパツ朝日新聞ジュニアサッカー教室」子どもたちはプロ選手が使用するピッチを駆け回り大喜び



大学生の活動を支援する「ニッパツ理工系大学サッカーリーグ」

遊休設備・工具の寄贈

東日本大震災の被災地への支援活動の一つとして、横浜商工会議所(当社の佐々木相談役が会頭)が推進する「遊休機械無償マッチング支援」に協力し、2012年4月、研究開発本部で使用していなかった設備や工具を寄贈しました。



遊休設備や工具を被災地へ寄贈

インターンシップや工場見学の受け入れ

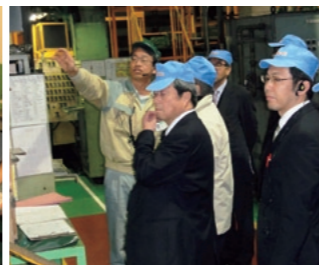
当社は、就業体験を行うインターンシップや工場見学を受け入れています。

インターンシップは、年々、人数が増加していることに加え、体験する業務の幅も広がっています。研究開発本部での解析、ばね生産本部とシート生産本部の開発設計やものづくりのほか、文系の大学生が経営企画部の業務を学ぶ就業体験も受け入れました。外国人のインターンシップも受け入れており、今後も、学生、生徒たちが実社会に触れる貴重な体験の場として、積極的に依頼に応じていく予定です。

工場見学は、当社所属団体や業界関係者のほか、小・中学生から高校生、大学生などを受け入れています。また、海外から政府・行政関係者や企業担当者の視察もあり、見学の目的も、ものづくり技術、品質管理、環境保全、安全衛生、障害者雇用など多岐にわたっています。



様々なテーマの体験を受け入れるインターンシップ



当社の取り組みの理解をしてもらう工場見学

地域のイベントなどへの協賛・協力

当社は、事業所のある地域で行われる各種のイベントに協賛、支援や協力を行っています。2012年度の主なものは次の通りです。

- ・横浜国際仮装行列(ざよこはまパレード)
- ・横浜スパークリングトワイライト
- ・ダンス・ダンス・ダンスat横浜
- ・天竜川水系環境ピクニック(伊那、駒ヶ根)
- ・キッズエンジニア2012
- ・全日本学生フォーミュラ
- ・おかあさんコーラス
- ・金沢まつり

また、知的障害者を支援するスペシャルオリンピックス日本・神奈川への体育館の貸与や、学習教材への当社製品の写真・資料の提供なども行っています。

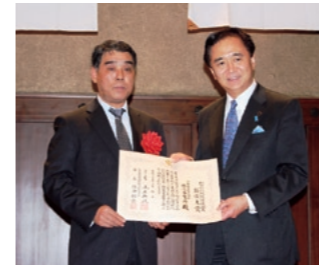
このほか当社は事業所ごとに、行政や地域の団体と連携を図りながら、様々なイベントなどに参画しています。



「横浜国際仮装行列」のキッズパレードに協賛



「天竜川水系環境ピクニック」に3工場が美化活動に参加



神奈川県や横浜市から環境保全活動で表彰を受けた



毎年、トップクラスの評価を受ける「キッズエンジニア」の当社プログラム

グループ会社の取り組み

当社のグループ会社は、それぞれの地域の状況に合わせた活動を展開しています。

グループ各社の協力で車いすの寄贈【日発陸会】

当社のグループ会社で組織する日発陸会は、社会貢献活動の一環として、当社の横浜事業所の隣にある横浜市立大学附属病院に車いすを寄贈しています。当社グループ全体で取り組んでいる古本のリサイクル活動の販売収益金を原資として、毎年、同病院に寄贈しているもので、2012年度で15年目になりました。今後も継続していく予定です。



贈呈した車いすを前に、日発陸会の数間総務部会長(右)と平原病院長

地元中学校に楽器を寄贈【ジー・エル・ジー】

ゴルフ練習場「リンクス新川崎」が開業20周年を迎え、同練習場を運営するジー・エル・ジーが隣にある日吉中学校にトランペットとクラリネット各1本を寄贈しました。「リンクス新川崎」は、同中学校の生徒の仕事体験やゴルフ体験も行っており、地域に根ざした施設として親しまれています。



2012年6月20日、ジー・エル・ジーの安田社長(左)が同中学校を訪れ、楽器を寄贈